

令和7年度 エルモふくろまち 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ 設立初年度のため、LMO拠点の環境整備や事務局体制の構築を行った。
・ 地域での認知度を高めるため、全住民を対象にしたイベント実施し、情報発信を強化した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	エルモふくろまち秋祭り事業	(5)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 10 月 20 日 ~ 令和 8 年 1 月 26 日	
(2) 実施場所	袋町公園	
(3) 参加者数	約 500 人	
(4) 主催団体	団体名 エルモふくろまち	
4 取組内容		
袋町公園を舞台にして、袋町全住民を対象に、地域のつながり・交流促進を目的に、各団体が連携する地域の新しい祭りを実施した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 エルモふくろまちの認知度の向上や地域内のつながりや世代間交流を促進し、多様な団体の連携を通じて地域コミュニティの活性化を図る。さらに、日常生活の場である「まち」そのものに愛着と誇りを感じられる環境を育むことを目的とした。		
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 企画を行う祭り実行委員会を組成したことで、世代や立場を超えた住民同士の対話や協働が生まれ、地域コミュニティの一体感が醸成された。各団体（町内会、PTA、こども会、商店街、企業など）が祭りを通じて協働することで、今後の地域活動にもつながるネットワークや協力体制が構築された。 小学校教育代表による袋町に関するスピーチや、スポーツクラブの活動紹介など、子供たちが「地域の一員」として関わる機会を得られ、地域への関心・愛着を高めるきっかけとなった。		

1 事業名	防犯パトロール等強化事業	(5)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	袋町学区内	
(3) 参加者数	約 69 人	
(4) 主催団体	団体名 <u>エルモふくろまち、袋町地区青少年健全育成連絡協議会、 本通地区防犯連合会・大手町地区防犯連合会</u>	
4 取組内容	不審者対策やトラブル防止のため、各団体と連携して地域の防犯パトロールやごみ収集を行った。地域団体との共同活動を行うことで連携を深めた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 近年、夜間の治安悪化や観光客増加に伴うトラブル・犯罪への懸念が地域住民から高まっている。これに対応するため、地域住民等による見守り活動を強化し、地域の力で「誰もが安心して暮らせるまち」を実現することを目的とした。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 見守り活動や地域のパトロールが日常的に行われることで、「地域に目が届いている」という安心感が住民に生まれた。 活動を通じた住民・団体同士の連携が深まり、防犯以外の助け合いや交流のきっかけとなった。防犯体制が整っていることを可視化することで、観光客にとっても安全なまちという印象を与え、地域イメージの向上につながった。		

1 事業名	平和大通り及び街区清掃活動事業	(5)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	袋町学区内	
(3) 参加者数	70 人	
(4) 主催団体	団体名 エルモふくろまち、袋町地区公衆衛生推進協議会、 広島市中央部商店街振興組合連合会	
4 取組内容		
平和大通り等の一斉清掃・落書き消し・緑化活動の実施を通じ、地域の環境を守り、美しいまちづくりを推進した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 地域内で発生しているポイ捨てや落書き、カラスによる被害などの生活環境の悪化に対し、地域住民が主体となつてごみ拾いや落書き消し、緑化活動などを行うことで、清潔で快適なまちを維持・再生し、住民の誇りと愛着を育む「美しいまちづくり」を推進することを目的とした。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 定期的な清掃活動や緑化によって、街の美しさや快適性が向上し、誰もが気持ちよく過ごせる環境を整えた。ごみ拾いや落書き消しに関わることで、地域の環境に対する意識やマナーが向上した。環境が整った地域は「管理されている場所」として認識されやすく、不審者の侵入や犯罪の抑止にもつながる。清掃や緑化活動などをきっかけに、世代を超えた交流や協力が生まれ、地域コミュニティの結びつきが深まった。		

1 事業名	防災対策事業	(5)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 8 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	袋町学区会館	
(3) 参加者数	33 (行政 3 人を含む) 人	
(4) 主催団体	団体名 自主防災ふくろまち、エルモふくろまち	
4 取組内容	1. 袋町地区の生活避難場所運営本部組織のスタッフ名簿作成を行った。 2. 連絡網に LINE グループを作った。 3. 各担当の役割を把握するために、行政の方に講師を依頼し「避難所運営マニュアル」を基に各班の役割説明会を実施した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	いつ災害が起こるかわからない今、生活避難場所の運営に備えて袋町地区の運営本部組織のつながりと各担当者の役割を把握し、災害時に行動できることを目的とした。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	1. 袋町地区の生活避難場所運営本部のスタッフが、自分が担当であり、役割は何かを把握することができた。 2. 説明会議にスタッフ 33 名中 29 名と新たに 1 名スタッフ候補の参加があった。その後、候補者を役割班に割り当てた。 3. LINE グループの友だちも 28 名になった。(2 名は LINE をしていない) 4. 来年度は消火器の操作や救急処置 (応急手当や A E D など) の体験を実施する旨を周知することができた。	

1 事業名	情報発信・共有事業	(5)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	袋町学区内	
(3) 参加者数	200 人	
(4) 主催団体	団体名 エルモふくろまち	
4 取組内容	掲示板、回覧板といった既存メディアとの連携・補完すべく、ホームページ（こむねっと）、Instagram、LINE Official Account を導入し、各町内会、住民、NPO、商店街、企業、行政等が共有できる情報プラットフォームを構築した。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 各世代・立場の違いに関係なく、必要な情報に「アクセスできる」「届けられる」ことを保証する。地域内の団体や個人が互いの活動や課題を「知り合う」ことを通じて、連携や協力のきっかけを生む。緊急時にも頼れる“情報のネットワーク”を日常から整えた。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 地域住民への情報提供がチラシ配布や一部の掲示板への掲出しが方法がなかった地域に、SNS を活用した新たな情報発信の方法が確立できた。 情報発信のあり方として、誰にも情報の取りこぼしの無いように、新たな掲示板を地域内に数か所設置する計画を次年度に向けて検討した。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容